



県議会とちぎ

第88号
2008年11月9日
編集・発行 栃木県議会
〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-3772
FAX 028-623-3755
Eメール gikai@pref.tochigi.lg.jp
HPアドレス http://www.pref.tochigi.lg.jp/assembly/

第295回定例会(平成20年9月)

予算特別委員会(総括質疑)を開催



予算特別委員会総括質疑

第295回県議会定例会は、9月18日から10月9日まで、22日間の会期で開かれ、9月22日、24日及び25日には、上程議案並びに県政全般に関する質疑・質問が行われました。10月1日には、前定例会で設置された予算特別委員会の総括質疑が初めて行われ、7日には付託議案の採決が行われました。

また、本定例会では、平成20年度栃木県一般会計補正予算をはじめ知事提出の21議案と、議員提案による政策条例である「栃木県商工業者等の地域貢献活動によるまちづくりの推進に関する条例」をはじめ議員提出の8議案が原案どおり可決されました。

可決された主な議案

- 平成20年度栃木県一般会計補正予算
- 平成20年度栃木県流域下水道事業特別会計補正予算
- 食品衛生法施行条例の一部改正について
- 栃木県商工業者等の地域貢献活動によるまちづくりの推進に関する条例の制定について

可決された意見書

- 過疎地域自立促進特別措置法の失効に伴う新たな法律の制定に関する意見書
- 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書
- 安心できる地域医療提供体制の確保を求める意見書
- 公立学校施設の早急な耐震化を求める意見書
- 道路整備財源の安定的な確保を求める意見書

代表・一般質問者及び質問項目

- 一 行財政改革の推進
〔栃木県行財政改革大綱〕の推進
二 地方分権の推進
三 今後の取組
四 県南地域の合併問題
五 エコマナーの導入
六 安全・安心なまちづくり
七 地域における介護と福祉、医療等との連携
八 観光の振興
九 とちぎの教育
十 教育長独自の教育理念
十一 「教育振興基本計画」への対応



琴寄 昌男
(公明・新政)

- 一 財政の健全化
二 財政健全化への知事の取組姿勢
三 平成二十一年度予算編成の方向性
四 総合スポーツゾーンの整備
五 地域ブランドの推進
六 とちぎの元気な森づくり
七 県民事業による災害対策
八 安全安心な県政
九 県立病院の経営改善
十 塩谷総合病院の経営移譲問題
十一 道路アンダー部の冠水対策
十二 農業政策
十三 加工・業務用野菜の振興
十四 飼料用米の生産拡大



菅谷 文利
(県民ネット)※

- 一 知事の政治姿勢
二 これからの財政運営
三 来年度の予算編成の見通し
四 来年度以降の財政見通し
五 財政健全化への取組
六 市町との関係
七 総合スポーツゾーン整備構想
八 産業廃棄物処理行政
九 とちぎの元気な森づくり
十 県民税
十一 地域中核病院の支援
十二 これからの企業誘致と企業支援戦略
十三 これからの企業誘致戦略
十四 自転車にやさしい県土づくり
十五 学ぶ楽しさを実感できる教育の推進



三森 文徳
(自民党)※

- 一 県民の義務と権利
二 行政経営品質
三 高次脳機能障害者への支援
四 周産期医療の充実
五 救急医療体制の整備
六 県道栃木二宮線の整備
七 県道仙波鍋山線の整備
八 都市計画道路小山栃木都賀線の整備見直し



榊淵 忠男
(自民党)

- 一 県財政の健全化
二 持続可能な財政基盤の確立
三 地方債の市場評価を高めるための取組
四 県税の徴収率アップのための取組
五 「ふるさと納税制度」の積極的なPR
六 とちぎの元気な森づくり
七 県民税
八 とちぎの元気な森づくり
九 県立病院の経営改善
十 塩谷総合病院の経営移譲問題
十一 道路アンダー部の冠水対策
十二 農業政策
十三 加工・業務用野菜の振興
十四 飼料用米の生産拡大



阿部 寿一
(無所属県民)

- 一 市町村重視の県政と「栃木スタンダード」の推進
二 消費者行政の推進
三 世代同居の推進
四 地球温暖化に対応した農業の研究・開発
五 外資系・外国企業の誘致戦略
六 県管理道路に関する集中豪雨時の対策と初動対応
七 小山市における安全で安心な通学路の整備
八 県道宇都宮結城線
九 県道福良羽川線
十 県道結城二宮線
十一 とちぎの教育の推進と事務負担の軽減



五十嵐 清
(自民党)

- 一 県財政
二 男女共同参画推進
三 DV対策
四 市町におけるDV対策
五 全国シニアシンポジウム
六 派遣労働者対策
七 スクールカウンセラー



山田 美也子
(県民ネット)

- 一 とちぎ元気プランの推進
二 振り込め詐欺の防止対策
三 社会全体で取り組む子育て家庭への支援策
四 ユビキタス社会の構築に向けたプロトタイプ・ゼロ地域の解消
五 食料自給率向上に向けた地域の解消
六 食料・農業・農村基本計画に基づいた役割
七 魅力的な農産物の提供
八 冬期間の交通安全の確保
九 国道四六一号の道路整備
十 県道大田原氏家線の整備
十一 県道那須黒羽茂木線の整備



津久井 富雄
(自民党)

- 一 とちぎブランド
二 原油価格の高騰対策
三 地球温暖化防止対策
四 フランス・ウオークリューズ県との友好交流
五 ごはんに関しむ取組の推進
六 自殺対策
七 救急医療の適正利用
八 小山市南部地域と野木町を連結する道路の整備
九 小山警察署の整備



栗田 城
(自民党)

- 一 超高齢社会を見据えたとちぎの将来展望と社会保障制度のあり方
二 健康情報手帳の普及促進
三 塩谷総合病院の存続問題
四 ドクターヘリの導入
五 「地域力」を活かす「農工商連携」
六 農工商連携施策に取り組み地方行政のあり方(組織力の最大化)
七 県が行う農工商連携施策
八 太陽光発電の導入
九 メディア・リテラシー教育



花塚 隆志
(自民党)

第88号の内容

- 定例会の概要 1
- 可決された主な議案
- 可決された意見書
- 代表・一般質問者及び質問項目
- 本会議質疑・質問から 2
- 委員会等の活動状況 3、4
- 広報番組のお知らせ 4

第295回 定例会の日程

月日	曜日	議事日程
9月18日	木	本会議(開会・議案上程)
19日	金	議案調査
22日	月	本会議(質疑・質問)
24日	水	議案調査
25日	木	議案調査
26日	金	議案調査
29日	月	議案調査
30日	火	議案調査
10月1日	水	予算特別委員会(総括質疑)
2日	木	常任委員会
3日	金	特別委員会
7日	火	予算特別委員会(採決)
8日	水	議会運営委員会
9日	木	本会議(採決・閉会)

注()は所属党派 (自民党)栃木県議会自由民主党議員会 (県民ネット)県民ネット21 (公明・新政)公明党・新政クラブ議員会 (無所属県民)無所属県民クラブ ※は代表質問
2ページの「本会議質疑・質問から」に掲載している質問項目については、太字で表示してあります。

第295回定例会 本会議質疑・質問から

主な質疑・質問の要旨と、これに対する知事などの執行部の答弁の要旨は次のとおりです。

県民の義務と権利

問 県税や県営住宅家賃の未払い等、県民としての義務を果たさない人が増えている。また、自分の権利のみを声高に主張する風潮が蔓延しており、義務と権利のバランスが崩れている。このような状況をどう感じ、どのように県政運営をしていこうとしているのか、知事に聞きたい。

答 私ははじめに働く方々がきちんと報われる社会、流した汗が評価される社会を創ることが重要であると考えている。すべての県民が人に対する思いやりや責任感を持ち、一人の人間として自立し、社会の一員として積極的に活動していく「人間力に満ちたとちぎ」を築いていく。

県南地域の合併問題

問 県南地域の合併は、岩舟町が離脱し一市五町の組合せが崩れ、合併新法の期限の平成二十二年三月までには厳しいとの見方もある。県は市町の動向をただ見守るのではなく、介添え役として強いリーダーシップを発揮し、強い姿勢で深く関与すべきと考えるが、県南地域の合併推進に今後どう対応するのか、知事の考えを聞きたい。

答 今日まで、様々な機会に副知事や職員を派遣し、実現に向けて取り組んできた。今後、一市四町の法定合併協議会が設置されるなど、合併の方向性が定まった場合は、合併推進審議会の意見を聴きながら、合併推進構想の変更を行った上で、法期限内の合併を進めていく。

消費者行政の推進

問 国では、消費者庁の創設に向けて準備を行っているが、県においても市町や関係機関との連携強化等が求められており、今後どのように消費者行政を推進していくのか、県の考えを聞きたい。

答 住民に最も身近な市町の相談体制の整備充実に対する支援とともに、消費者被害情報の集約・一元化、警察等の関係機関との連携強化、悪質事業者への厳正な対応等に重点を置く必要がある。

これからの財政運営

問 来年度予算編成に当たっての基本的な考え方、また、来年度以降の財政見通しと財政健全化への取組について、知事の考えを聞きたい。

答 極めて厳しい財政状況の中、県民の貴重な税金を財源としていることを職員一人ひとりが認識し、最小の経費で最大の効果が見えるよう、聖域なく事業を見直すとともに、平成二十一年度政策経営基本方針に基づき、更なる事業の選択と集中を進めていく。

まずは平成二十一年度当初予算編成に全力で取り組み、その上で国の税制改革の状況を見極めつつ、中長期的な収支の見通しを立て、財政健全化の対応方針を策定し、基金に頼らない持続可能な

財政基盤の確立を目指していく。

間伐材の利活用

問 とちぎの元気な森づくり県民税事業の奥山林整備事業では間伐材を伐り捨てる方式をとると聞く。間伐材をペレット(木屑を固めた木質燃料)やチップ(小片)化して熱源として活用すれば、奥山林の整備によるCO₂吸収力の向上と、化石燃料を使用しないことによる、CO₂排出削減の両方の効果を引き出せる。県民税を使い、間伐材を熱源として利活用すべきであると考えますが、県の考えを聞きたい。

答 最小限の経費で早急に目的達成できるよう伐り捨て間伐とした。間伐材の熱

源利用には搬出経費削減等の大きな課題があるが、関連団体等と連携し、利用可能量、収集、運搬コストについて事例調査を始めており、調査結果や先進事例を踏まえ研究していく。

太陽光発電の導入



ペレット

問 「地球と人にやさしい工」とちぎづくりを進めるため、自動車産業、航空宇宙産業に加えて第三世代太陽電池等の新エネルギー産業や次世代型環境技術産業等の研究を積極的に誘致するとともに、県民出資のメガソーラー(大規模の太陽光発電システム)を導入するなど、太陽光発電の積極的な導入を図るべきと考えるが、知事の考えを聞きたい。

答 提案のあった産業は、地球温暖化問題への対応等の観点から、一層重要性を増すとともに成長が期待できる分野の一つなので、今後は、積極的な誘致に取り組んでいく。また、本県の日照時間は全国的に見て長いなど、太陽光発電の普及拡大の可能性は高いと見込まれる。国の動向や技術開発の状況等も見極めつつ、

市町と連携して積極的に取り組んでいく。

塩谷総合病院の経営移譲問題

問 移譲先の交渉相手として、基幹的病院を運営する済生会が正式に名乗りを上げてくれたが、今後、具体的にどう交渉が進められ、県としてどう支援していくのか知事に聞きたい。

答 現在、JA栃木厚生連と済生会との間で、資産の譲渡、病院職員の身分移管等、移譲に係る諸問題の整理、検討が進められている。この協議において、地域に必要とされる診療機能や医師・看護師の確保策等についても方向性が明らかにされる必要があると考えている。

県としては、必要な助言に努めるとともに、新病院における医師等の確保や財政的な面でも、できる限りの支援に努めていく。

小山市南部地域と野木町を連結する道路の整備

問 小山市と野木町の交流を促進し、両市町の連携強化を図るため、「間々田東通り」と「野木中央通り」の都市計画道路の接続を、都市計画に位置付けるべきと考えますが、県の考えを聞きたい。

答 小山栃木都市圏都市交通マスタープランに、国道四号を補完しJR宇都宮線東側を南北に結ぶ幹線道路として「間々田東通り」と「野木中央通り」とを結ぶ道路を位置付けた。この区間の都市計画決定に当たっては、ルート選定の選定、道路の構造及び都市計画の決定主体等

スクールカウンセラー

問 スクールカウンセラーは児童への相談、保護者、養護教諭、担任のフォローや連携等、その役割が多岐にわたっているが、勤務時間は限られ、一年ごとの単年契約である。未配置校を少なくすることも必要だが、子ども達の自我が目覚める中学校において段階的にでも常勤体制を検討できないか聞きたい。

答 常勤化となれば、まず各学校でスクールカウンセラーの役割をどう位置付けるか明確にしなければならず、担任との間に役割分担がされること、子ども達に責任を持たなければならぬ責任の資質能力が減少することもある。また、財政的な部分からもなかなか厳しい。

振り込め詐欺の防止対策

問 発生件数が増加している振り込め詐欺に対して、今後どのような防止対策を講じていくのか聞きたい。



振り込め詐欺防止啓発チラシ

答 県警では専従の「振り込め詐欺等捜査班」を設置し、本年は三十六名を検挙したが、発生に歯止めがかからない状況である。

振り込め詐欺の被害防止活動としては、ATM(現金自動預け払い機)周辺対策や高齢者に対する広報・啓発が重要であるため、金融機関と連携したATM利用時の携帯電話の不使用についての啓発等や、高齢者に対する参加・体験型の防犯教室の開催等を推進していく。特に、十月を振り込め詐欺対策強化期間と定め、諸活動を強力に展開していく。

議会のつぎ①

◆決算特別委員会の設置
平成十九年度歳入歳出決算等の認定について審査するため、特別委員会が設置されました。委員については、次のとおりです。

- | | |
|------|---------------|
| 委員長 | 栗田 城(自民党) |
| 副委員長 | 中川 幹雄(自民党) |
| 委員 | 保母 欽一郎(県民ネット) |
| 委員 | 金子 裕(自民党) |
| 委員 | 佐藤 良(自民党) |
| 委員 | 津久井 富雄(自民党) |
| 委員 | 山形 修治(自民党) |
| 委員 | 山口 恒夫(公明・新政) |
| 委員 | 若林 和雄(自民党) |
| 委員 | 小林 幹夫(自民党) |
| 委員 | 花塚 隆志(自民党) |
| 委員 | 早川 尚秀(自民党) |
| 委員 | 山田 美也子(県民ネット) |
| 委員 | 野村 壽彦(無所属県民) |
| 委員 | 高橋 文吉(自民党) |
- (定数十五人)
- ◇凡 例
(自民党) 栃木県議会自由民主党議員会
(県民ネット) 県民ネット21
(公明・新政) 公明党新政クラブ議員会
(無所属県民) 無所属県民クラブ

委員会等の活動状況①

生活保健福祉委員会 (定数9人)

生活保健福祉委員会では、県民生活部及び保健福祉部に関係する予算案や条例案、請願・陳情等の審査を行うほか、文化行政、防災対策、保健、医療、福祉等、これらの部に関係する事項について調査を行っています。

七月には、先進県における文化行政や自殺対策、児童養護・情緒障害児対策、ドクターヘリの運用等の状況を調査しました。

また、今定例会では、三件の議案と四件の請願・陳情の審査等を行いました。



ドクターヘリを調査する委員

県政経営委員会 (定数9人)

県政経営委員会では、総合政策部や経営管理部が所管する予算案や条例案等の審査を行うほか、県行政の総合企画、市町村行政の支援、地域振興、予算編成、行財政改革、県税の賦課徴収等について調査を行っています。

今年度は、これまでに地域活性化の新たな取組の参考とするため、県内外の先進的な事例等について調査を行いました。

また、今定例会では、七件の議案等に対し、活発な質疑が行われ、議会の立場から提言等を行いました。



議案の審査を行う委員

経済企業委員会 (定数8人)

経済企業委員会では、産業労働観光部、企業局、労働委員会に関係する議案や請願・陳情等の審査、調査を行っています。

今定例会では、三件の議案と一件の陳情の審査や調査を行いました。

また、これまでに、北那須水道事務所や大田原市内の地場産業の状況、さらには、島根県におけるブランド推進や観光行政の取組について調査しました。

今後とも、県民の皆さんへの視点に立った活発な委員会活動を行いたいと思えます。



調査先の企業で説明を受ける委員

農林環境委員会 (定数8人)

農林環境委員会では、環境森林部と農政部に関係する議案、請願・陳情等の審査や調査を行っています。

これまでに、宇都宮市内及び茂木町内の環境及び農林業の先進的な取組や、他県における農林業によるまちおこしの取組等について調査を行いました。また、今定例会では、二件の議案と五件の陳情の審査等を行いました。

今後とも、県民が安心して暮らせる豊かな社会を実現するため、積極的に委員会活動を展開していきます。



県産材を活用した学校を調査する委員

文教警察委員会 (定数8人)

文教警察委員会では、県教育委員会及び警察本部に関係する議案等の審査や調査を行っています。

これまで、県内の特別支援学校における教育の状況や警察署における凶悪犯罪等への取組等について調査しました。また、今定例会では、五件の議案について審査等を行いました。

今後とも、子どもたちが心豊かで健やかに育つ社会、県民が安心して暮らせる社会の実現を目指し、活動を展開していきます。



警察施設を調査する委員

県土整備委員会 (定数8人)

県土整備委員会では、道路、河川、公園、下水道、県営住宅の整備、都市計画、交通政策等が効率的、効果的に行われているかについて調査、審査等を行っています。また、県内全市町からの要望箇所を調査しましたが、これらの要望は、各地域の皆さんの切実な願いですので、執行部と力を合わせ、効率的で、効果的な整備を進めて参ります。

今後とも、県民の皆さんのご意見やご要望をお聞きしながら、安全で安心な暮らしの実現に向けて、積極的に活動していきます。



現地調査先で説明を受ける委員

決算特別委員会 (定数15人)

決算特別委員会は、十五名の委員で構成されています。本委員会では、平成十九年度の栃木県企業会計決算及び栃木県普通会計決算について、執行部から提出された決算関係資料を基に、予算の執行が議会の議決の趣旨に沿って、適正かつ効率的に執行されたか、所期の目的は達成されたか、さらに、今後改善を要する点は何か等に主眼をおいて、執行部からの決算内容の詳細な説明を聴取しながら、慎重かつ厳正な審査を行っています。



決算の審査を行う委員

議会運営委員会 (定数11人)

議会運営委員会は、十一名の委員で構成され、原則として本会議開会の七日前と、議案採決日の前日に開催していますが、必要に応じて開催する場合もあります。

本委員会は本会議が円滑に運営できるよう、会期、質疑質問に関することや提出議案の取扱い等について協議します。

また、議案の採決や意見書の取扱い等、議会運営上の課題についても、会派間の意見の調整を行うなど、必要に応じて、取り決めを行っています。



議会運営について審議する委員

委員会等の活動状況②

足利銀行問題等地域活性化対策特別委員会 (定数12人)

本県の中核的金融機関である足利銀行が、今年七月から再スタートしました。一方、景気が後退局面に入る中、地域経済の活性化が喫緊の課題となっております。

このため、本委員会では、足利銀行の受け皿である野村グループから直接、足利ホールディングスの事業計画等を聴取したほか、中小企業対策として、最近の景況や信用保証の状況等について調査して参りました。

また、温泉地域の再生状況に関して、地元関係者と意見交換するなど、機動的な活動を展開しています。



鬼怒川温泉の再生状況を調査する委員

予算特別委員会 (定数25人)

予算特別委員会は、予算審査の充実を図り、県民に開かれた県議会を目指すという観点から、今年度新たに設置された委員会です。二十名の委員で構成されており、委員会の円滑な運営のために、審査日程の調整、付託議案の取扱い、質疑者の調整等、様々な問題について協議する理事會を設置しています。

今定例会では、予算特別委員会総括質疑が行われ、予算案等について、各委員から活発な質疑が行われ、執行部と議論を深め、充実した審査が行われました。



10月1日に開催された総括質疑の様子

議会活性化検討会 (定数12人)

議会活性化検討会は、議会活動の更なる活性化に向けて、昨年度に続き設置されています。今年度前半は、議員が議会の招集に応じて登庁し議案調査等を行う際に支払われる費用弁償について検討しました。

その結果、「距離別定額」支給方式から、「交通費実費十定額」支給方式に見直すべきとの中間報告を十月九日、議長へ提出しました。

このほか、議会活動のあり方や議員会館の見直しについて検討を加え、年内に最終的な報告を行う予定です。



検討会における調査・検討の様子

環境保全対策特別委員会 (定数12人)

とちぎの恵み豊かな環境を、次の世代にしっかりと引き継いでいくことは、今に生きる我々の責務ですが、これまでの様々な取組にもかかわらず、地球温暖化をはじめとした環境問題は複雑・深刻化しています。

こうした中、本委員会では、温室効果ガスの排出削減に向けた県民運動の展開や自然エネルギーの利用促進等、地球温暖化を防止するための取組や、豊かな森林・自然環境を保全するための取組等、環境保全対策に関する調査研究を積極的に行っています。



クマの剥皮被害現場を調査する委員

企業局事業等あり方検討会 (定数12人)

企業局事業等あり方検討会では、地方公営企業の公共性と経済性の両立問題や、企業局と同様の事業を行う団体との役割分担等について検討する旨の議長の諮問により、検討を進めています。まず、県民ゴルフ場については、指定管理者制度を導入するとともに、長期借入金について、早期に抜本的な処理を行うべきである旨の中間報告を行いました。

さらに、電気事業や県出資法人等のあり方について、調査研究を進めており、検討結果を議長に報告する予定です。



検討会における調査・検討の様子

議会のつぎ②

◆議員提案政策条例が成立
今定例会において、「栃木県商工業者等の地域貢献活動によるまちづくりの推進に関する条例案」が九名の議員から提出され、九月十八日の本会議での趣旨説明の後、経済企業委員会での審査を経て、十月九日の本会議において、原案のとおり可決成立しました。

この条例は、県民が誇りと愛着を持つことのできる豊かな住みよいまちづくりを推進することを目的とするものであり、「とちぎ食の安全・安心・信頼性の確保に関する条例」に続く議員提案の政策条例となります。



経済企業委員会での条例案審査の様子

第296回 県議会定例会の開催予定

第296回定例会は、右記の日程で開催する予定です。本会議や委員会はどうなっても傍聴することができます。また、本会議の質疑・質問は、とちぎテレビ、栃木放送(ラジオ)、インターネットで生中継されます。

※開催予定の詳細は、県議会事務局議事課(028-623-3761)までお問い合わせください。

月日	内容	時間
12月10日(水)	本会議(開会・議案上程) 議案調査	午前10時
11日(木)	議案調査	
12日(金)	本会議(質疑・質問)	午前10時
15日(月)	//	//
16日(火)	//	//
17日(水)	常任委員会	//
18日(木)	//	//
19日(金)	特別委員会	//
22日(月)	//	//
24日(水)	議会運営委員会	午前11時
25日(木)	本会議(採決・閉会)	午前10時

県議会広報テレビ番組のお知らせ

「県議会へようこそ」(とちぎテレビ)を通じて、県議会の動きなどをお届けしています。番組内容は次のとおりです。ぜひご覧ください。

○「委員会からこんにちは」

第5回	足利銀行問題等地域活性化対策特別委員会・予算特別委員会
本放送	11月22日(土) 午前10時 5分～10時20分
再放送	11月24日(月) 午後 7時15分～ 7時30分
第6回	議会活性化検討会・企業局事業等あり方検討会
本放送	1月24日(土) 午前10時 5分～10時20分
再放送	1月26日(月) 午後 7時15分～ 7時30分